

かなひろいテスト

文の中から、「あ・い・う・え・お」をひろいあげて、○をつけてください。

(練習問題)

ももたろうは、きじといぬとさるをけらいにして、おにがしまへ、おにたいじにいきました。

むかし、あるところに、ひとりぐらしのおばあさんがいてとしをとって、びんぼうでしたが、いつもほがらかにくらししていました。ちいさなこやにすんでいて、きんじょのひとのつかいはしりをやっは、こちらでひとくち、あちらでひとのみ、おれいにたべさせてもらっやっとそのひぐらしをたてていましたがそれでもいつもげんきでよう、なにひとつふそくはないというふうでした。

ところがあるばん、おばあさんがいつものようににこにこしながら、いそしそとうちへかえるとちゆう、みちばたのみぞのなかに、くろい、おおきなつぼをみつけました。「おや、つぼだね。いれるものさえあればべんりなものさ。わしにやなにもないが。だれがこのみぞへおとしていったのかねえ。と、おばあさんはもちぬしがいないかと、あたりをみわたしましたが、だれもいません。「おおかたあながあいたんで、だれかすてたんだらう。そんならここに、はなでもいけて、まどにおこう。ちよっくらもっていこうかね」こういっておばあさんはつぼのふたをとって、なかをのぞきました。

2分以内に実地

判断 50 歳 15 個、60 歳 10 個、70 歳 9 個、80 歳 8 個 以下の場合
は痴呆の可能性あり